

学校だより



市川市立平田小学校

～共に学ぶ 共に育つ 共に感動する そして共に幸せ～

いなほ
稲穂

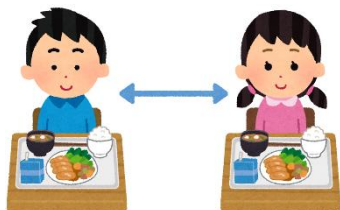
学校教育目標

夢をもち、たくましく生きる
子どもの育成

No.23

令和5年2月1日

校長 蜂須賀 久幸

<https://ichikawa-school.ed.jp/hirata-sho>

給食時の黙食について検討します

新型コロナウイルスの感染者が多く報告される中、伝染病2類相当に位置づけられている新型コロナが、5月GW明けに季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に引き下げられます。また、屋内でのマスク着用についても「原則不要」とする案が検討されています。ただ、コロナはまだ収束していないことを肝に銘ずる必要があります。

こうした中、千葉県では昨年12月22日に『新型コロナウイルス感染症 学校における対策ガイドライン』の改訂をして、給食に関しては、「教室やランチルームでの給食の際、黙食を行う必要はなく、換気を徹底するとともに身体的距離を確保した上で、児童生徒等の間で会話を行うことを可とする」「大声での会話は控える」「食事後は、マスクを着用する」と示しました。また、市川市でも1月16日版『新たな学校生活スタイルガイドライン』で、これに準ずる内容を公表しています。

これを受けて、学校でも実施内容や時期を含めて職員間の共通理解を図りました。子供同士の身体的距離が前後左右1m確保できる学年もあれば、70cmしかとれない場合もあります。前述のようにガイドラインの緩和や5類に移行されることを、コロナは終わったと誤解してはいけません。従って、「給食中の会話」にもまだ制限が必要です。たとえ「小声可」としても、担任のとらえ方の温度差とともに、児童個々のとらえ方にも差が生じることが懸念されます。会話を不安に思う児童や保護者もいます。これからが本当の「With コロナ」の始まりとも言えるのです。

そこで3年生以上の児童に、給食中の黙食をどう思うかアンケートを実施して実態調査をしました。241人からもらった回答は、次のとおりです。

- 給食中の会話は感染の心配があるので、今のまま黙食を続けてほしい・・・26.6%
- 小さな声でも、友達と会話をしながら食べたいと、強く願っている・・・43.6%
- 会話は仕方ないと思うが、自分には話しかけてほしくない・・・3.7%
- どちらでもよい・・・26.1%

この結果を見ると、4分の1の児童が黙食の継続を望み、少数ですが自分に話しかけてほしくないと考える児童もいます。一方で4割以上が会話できる環境を望んでいることもわかります。

さらにこのアンケートで、5・6年生に対して『黙食見直し子供プロジェクトチーム』を募ったとき参加したいと思うかを尋ねました。すると、1割の児童が「参加したい」、2割が「参加してもよい」という回答を得ました。黙食は子供たちにとって大問題です。だからこそ、有志による検討を計画しています。決めたことを児童・保護者・地域に周知したのち、まずは年度末まで実施します。そして4月以降は、それまでの取り組みの成果と課題をまとめるとともに、直近の感染状況等を踏まえて対応をしていきます。



1 2月末 学校評価（保護者アンケート）の集計結果

	アンケート項目 回答率 62.8%	肯定的 回答	前回
1	お子さんは、学校の授業がわかりやすいと言っている。	83.8%	84.2%
2	お子さんは、わからないことを自分から調べるなど、いろいろなことに興味を持って学習に取り組んでいる。	65.8%	63.2%
3	お子さんは、家庭学習の習慣が身についている。	69.4%	71.9%
4	お子さんは、友だちや近所の人などに、自分から進んであいさつをしている。	76.4%	74.9%
5	お子さんは、自分の役割に責任をもって取り組んでいる。	83.8%	82.3%
6	お子さんは、誰とでもやさしく関わっている。	94.4%	91.8%
7	お子さんは、進んで読書活動に親しんでいる。	60.9%	61.5%
8	お子さんは、進んで(外で遊ぶなど)体を動かしている。	69.0%	72.5%
9	お子さんは、自らの安全(交通事故・ケガなど)に気をつけて生活している。	87.7%	87.7%
10	お子さんは、規則正しい生活習慣(睡眠・食習慣など)が身についている。	77.1%	79.0%
11	学校は、目指す子供の姿や学校経営方針について、保護者に理解されるように努めている。	90.1%	88.0%
12	学校は、保護者や地域の方々とともに、子供を育てる取り組みを進めている。	88.4%	86.1%
13	学校は、保護者の思いや願いに対して適切に対応している。	88.4%	84.2%
14	学校は、特色ある取り組みや教育を進めている。	82.4%	73.3%
15	学校は、子供一人一人に適切な指導や支援を行っている。	82.7%	79.0%
16	学校は、特別支援教育あるいは配慮を要する児童への支援に関して丁寧に取り組んでいる。	83.5%	81.2%
17	学校は、学校だよりやHPで適切な情報提供を行っている。	97.9%	92.1%
①	家庭では、学習習慣が身につくように努めている。	76.8%	81.2%
②	家庭では、お子さんの自己肯定感や自信を育むために、褒めたりよさに気づかせたりすることを心がけている。	83.5%	79.6%
③	お子さんのあいさつ・言葉遣い・マナーなど基本的なしつけを大切にしている。	90.8%	91.8%
④	日頃からお子さんとのコミュニケーションを積極的に図っている。	94.4%	93.4%
⑤	朝食をとることや早寝早起きなど、お子さんの生活習慣形成に努めている。	87.7%	87.5%
⑥	交通事故や不審者、非常変災などから危機回避する心構えや手立てを、具体的にお子さんに教えている。	87.3%	89.4%

上の表のとおり、前回6月末と大きな変化がみられるものではありませんでした。しかしながら、11～17に示す「信頼される学校づくり」に関連する全7項目で肯定評価が上がったことはうれしいことです。詳細及び考察については、メールでお送りするとともに学校HPに掲載します。ご覧ください。

***** 卒業証書授与式について *****

3月17日(金)10時から挙ります。在校生の参加はなく、各家庭参加は保護者2名までとして計画
中です。また、学校サポーターである学校運営協議会の方にはお声かけする方向で進めます。